

出かけるきっかけ

姫路 → 広島 「マツダスタジアムへ行こう」



Fさんは姫路市内に住む83歳の男性。昔から旅行が大好きで、現役時代はほとんど毎週末、旅行に出かけていた。

ところが6年前に脳梗塞で倒れ、入院。現在は奥様とリハビリに励む毎日だ。家の中では手すりなどを使って歩行しているが、外出時はいつも車いす。介助なしで遠出をすることに不安を感じ、旅行に行きたいと思いつつも、なかなか出られずにいた。

そんなFさんからほぼ毎月旅行のオーダーをいただくようになった。行き先はほとんどが10年前に訪ねたことのある場所。毎回街の変化を見ながら楽しんでた。しかし今回は、こちらから広島にあるマツダスタジアムに行きませんか、と提案、ご一緒させていただくことになった。何度か旅行に同行する中で、Fさんが広島ファンだと漏らしていたからだ。

設備のすばらしさで有名なマツダスタジアム。もちろん車いす席もあったが、リハビリでだいぶ歩ける距離が伸びてきているFさんに

はぜひ、一般座席でと考え、球場の営業部の方に相談、全体が見えやすい外野のバルコニー席をご用意いただいた。

また、せっかく広島まで行くので、縮景園にも立ち寄るプランに。

当日はあいにくの天気。残念ながら縮景園では土砂降りの雨で落ちていて庭園を眺めることはできなかった。しかし試合開始が近づくにつれ、天気が回復。ゲームの開催も無事決まり、時間通りに球場に入ることができた。家族連れなどでにぎわう球場内。バルコニー席に腰を下ろすと、二人とも、球場独特の雰囲気にも包まれた。

ノックの打球音。野手のグローブに白球が収まる音。ナイターのカクテル光線。それらをじっくりと味わうかのように、周りをゆっくりと見渡すFさん。

あいにく試合では広島が負けてしまったが、ナマの野球観戦の魅力は十分に感じられたにちがいない。

広島カープを応援するため、しゃらくの須具さんと広島カープの村廻地マツダスタジアムに出かけることが出来ました。
 球場は新しくなり従来の設備より数段すぐれ、身体障害者にも配慮された立派なものでした。
 私にも楽しいひとときを過ごすことが出来ました。残念ながら試合はヤクルトに負けてしまいました。
 病気になっても野球応援が出来たことはありがたいことでした。
 しゃらくの皆様には感謝しています。

担当者コメント

これでFさんの楽しみ、出かけるきっかけがまた一つできたと考え、心からうれしく思います。これからもFさんの「できることリスト」を増やして行くお手伝いをしていきたい。そう願っています。

介護度 要介護2

年齢 81歳

行先 広島県広島市

同行 エスコートヘルパー1名

時間

8:25

エスコートヘルパーがお出迎え

8:30

ご自宅を出発、JR姫路駅へ

9:19

新幹線ひかり495号で広島へ

10:21

JR広島駅に到着、タクシーで縮景園へ

10:50

縮景園に到着、散策

11:50

日本料理 三嶋(さんび)でご昼食

12:50

タクシーでマツダスタジアムへ

球場内散策

14:00

試合開始

15:00

試合終了、カープ3対0で完封負け

17:30

かき名庵でご夕食

18:51

新幹線ひかりレールスターに乗車

20:10

ご自宅に到着

